別紙様式第２号

**応募者及び公共建築物の概要**

１．応募者（公共建築物の所有者）

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 |  |
| 住所 |  |
| 部署名 |  |
| 担当者名 |  |
| 電話番号 |  |
| ＦＡＸ番号 |  |
| メールアドレス |  |
| 道産木材の活用意向 | □　活用する（予定を含む）　　□　活用しない |
| 公共建築物の木造化・木質化に向けた現状及び課題 |  |
| 公共建築物の木造化・木質化を行う上で応募者や地域の課題 |
| 希望する支援内容 |  |

※１　該当する項目は、■としてください。

※２　希望する支援内容は、公共建築物の木造化・木質化を進める上での課題等に対しての支援内容をご記入ください。

　　（例：構造材に適した木材の種類がわからない　→　木材の特徴や性能、調達方法を教えてほしい、等）

２．公共建築物の木造化・木質化を推進する地域の体制

|  |  |
| --- | --- |
| 地域で木造建築を推進する体制 | □　既にある□　構築する見込み（時期：　　　　　　　　　　）□　構築する予定はない |
| 推進体制の内容 | 木造建築を推進する体制が既にある場合、又は関係する事業者が決まっている（想定されている）場合は、関係者の名称を記入してください。コーディネーター役：行政：林業関係者：木材関係者：設計監理関係者：構造設計関係者：設備設計関係者：施工関係者：商業関係者：その他： |

※体制図や規約等があれば添付してください。

３．公共建築物の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 木材利用の区分【必須】 | □　木造化　　　□　木質化 |
| 施設の名称 |  |
| 施設の用途【必須】 |  |
| 建設予定地 | （□　防火地域　　□　準防火地域） |
| 規　　模 | 棟　　　数 | 　　　　　棟　　　□　未定 |
| 階　　　数 | 　　　　　階　　　□　未定 |
| 延べ床面積 | 　　　　　㎡　　　□　※木質化の場合は木質内装を行う床及び壁等の合計面積 |
| スケジュール【必須】 | 企画（基本計画等作成） | 　　　年　　月頃～　　　年　　月頃 |
| 設計者選定 | 年　　月頃（受注者：　　　　　　　） |
| 基本設計 | 年　　月頃～　　　年　　月頃 |
| 実施設計 | 年　　月頃～　　　年　　月頃 |
| 施工者選定 | 年　　月頃 |
| 木材調達 | 年　　月頃～　　　年　　月頃 |
| 建設工事 | 年　　月頃～　　　年　　月頃 |
| 木材利用量 | m3（うち道産木材　　　　m3）　□　未定 |
| 産地等指定 | □　あり（　　　　　　　　　　　　　　　　）□　なし　　　□　未定 |
| ありの場合（□市町村有林材　□森林認証材　□その他（　）） |
| 木材利用部位 | □　構造材（□柱　□梁　□床　□屋根　□その他（　　　　　））□　造作材（□壁　□床　□天井　□その他（　　　　　　　　））□　羽柄材　　　□　未定 |
| 部　　材 | □　製　材（□JAS構造用製材（□目視等級区分構造用製材　□機械等級区分構造用製材）　□JAS造作用製材　□非ＪＡＳ製材（構造材）　□非ＪＡＳ製材（造作材）　□コアドライ材）　□　構造用集成材（□大断面　□中断面　□小断面）□　枠組壁工法構造用製材　　□　構造用合板□　ＣＬＴ　　□　構造用LVL□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）　　□　未定 |
| 構　　造 | 木造化 | □　木造軸組工法　　　□　枠組壁工法□　混構造（□Ｓ造　　□ＲＣ造　　□ＳＲＣ造）□　ＣＬＴパネル工法　　　□　その他（　　　　　　　　　　　　　）　　□　未定 |
| 木質化 | □　Ｓ造　　□　ＲＣ造　　　□　ＳＲＣ造□　混構造（□Ｓ造　　□ＲＣ造　　□ＳＲＣ造）□　その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| □　耐火構造　　□　準耐火構造　　□　未定 |
| 事業費 | 　　　　　　　　　　千円 |
| 補助事業の利用 | □　有（年度：　　　、事業名：　　　　　　　　　　　　　）□　無　　　□　未定 |
| 備考 |  |

※１　応募時点で想定している内容を、ご記入ください。

　　　特に、【必須】項目は、見込みで結構ですので、できる限りご記入ください。

※２　企画構想書類や位置図等がある場合は添付してください。